

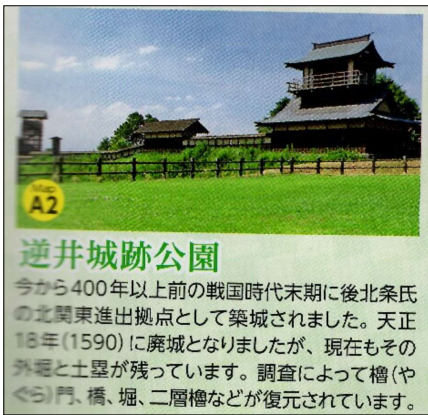
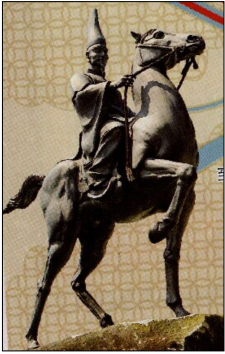
平将門史跡めぐり

茨城県坂東市内

日時: 2018年5月31日(木) 9:00

東武線杉戸高野台駅東口0-外-集合

埼玉東部将門を訪ねる会



幸手ICから圏央道で坂東ICまで行き、午前中は「逆井城」見学し、途中昼食(1千円程度)後、メインの「将門史跡めぐり」です。3.5kmを90分かけてウォーキングします。(服装は軽装でリュックが良い)

すべてのコースを坂東市観光協会のボランティアさんが引率解説をしていただけます。

車3台ぐらいで行きますので、車の応援をお願いします。参加費用として、交通費(1台3500円の人割り分)と国内旅行保険代(500円程度)のみです。

おだやかな春の日の1にちを一千年前にもどり、下総の国を散策しましょう。

坂東市、ロマンの里をたずねて……

将門史跡めぐり

ウォーキングマップ

一周3.5km
90分見学コース

今から1100年前の東国は、坂東と呼ばれる未開拓の地でした。その荒地の開拓に農民たちと取り組んだのが将門であったと伝えられています。将門は新しい時代を予期した馬牧の経営と製鉄による農具の開発などに取り組み、荒地の開拓を容易にしました。そうした進歩性が一族との争いを生み、その争いが国家権力との争いに発展し、豊かな郷土の実現を間近にして敗れてしまいました。

将門伝説には、その夢の表現を見事に散った悲劇性と庶民の願望が、今日まで語り継がれています。

① 國王神社
0.3km 3分
平将門を祭神とする神社で、公の三女如蔵尼が三十三回忌に父の姿を刻んだ木像が御神体になっている。拜殿・本殿・庫裏が県指定文化財。茨城観光100選の一つ。

② 島広山
0.3km 3分
承平5年(935)将門がここに石井の菅原を築き、軍事上の拠点としたところである。

③ 延命寺山門
0.3km 3分
将門の守り本尊である「薬師如来」を祀り、現在は山門だけが昔の面影を残す。茨城観光100選の一つ。

④ 石井の井戸
0.2km 2分
将門が水に圧迫している時、老翁が水を出してくれたという伝説の井戸である。

⑤ 一言神社
0.5km 6分
将門の守護神で水を司る一主明神を祀っている。

⑥ 九重の桜
1.2km 13分
将門が紫雲殿前から分枝したとも、また、郡司平守明が植えたとも伝えられている。

⑦ 富士見の馬場
1.3km 15分
将門が馬の訓練をし、軍馬や伝馬の市を開いたといわれる所である。

⑧ 延命院 (地図裏面記載)
平将門の脚塚があり、将門山ともいわれている。市民の浄財による顕彰碑と東京大手町の首塚より送られた石塔婆が建てられている。

お問い合わせ
坂東市観光協会

〒306-0692 茨城県坂東市岩井4365番地
TEL0297-20-8666 FAX0297-20-8025
http://bandokanko.jp

連絡先/申込先 (武田)
090-4816-3453
toztakeda@gmail.com

◇ 史跡の案内

- ・逆井城；3代城主逆井常繁の時(1536年)、後北条氏康軍に攻められて落城し、北条氏の支配下になる。1577年、佐竹氏等との対立から、北条氏繁が北関東の最前線基地として拡張工事を行い飯沼城としたが、1590年の小田原城の開城と共に逆井城は廃城となった。
- ・国王神社；将門の3女如蔵尼が父の33回忌に尊像を彫り国王大明神の名号を与えて祀った。社殿は拝殿、幣殿、本殿の三棟一体となった権現造り。江戸時代の建立
- ・石井宮所；鎌輪の館が焼かれた後の将門の本拠地。承平7年良兼軍の夜襲、丈部小春丸・法城寺(島広山)など具体事例が『将門記』にある。一騎当千80余騎を10人足らずで撃ち倒す。
- ・延命寺；石井宮所の鬼門除け寺。北山合戦のとき寺は焼かれ、将門の尊像「薬師如来像」は現在地に祀られた。その後、守谷城主相馬家が文安2年(1445)に再建したが、山門を残して消失。山門は四脚門、茅葺き切り妻造りの屋根で三重紅梁組み、妙見信仰の銅鏡を鑲む。
- ・石井の井戸；新皇となった将門は、「王城を下総国の帝南に建つべし」と駆巡っていたので、喉が乾き、水がほしくなった。そこに翁が現れ、「水」と一声・・・
- ・一言神社；石井の井戸の伝説の翁を祀った神社(一言主神信仰)、石井宮所建設の時の仮屋か
- ・文学碑；天慶3年1月貞盛探索の折、貞盛と源扶の妻を捕虜、一重ねの衣と和歌を贈った。
よそにても風の便りに吾そ問ふ枝離れたる花の宿りを
- ・騎馬像；平成6年ベルフォーレ落成記念、一色邦彦氏の作。将門が京からの帰還の様子を示す。最初は藤原忠平に仕えた(15~27歳)。2回目は源護に告訴され、大赦で帰郷(承平7)。
- ・胴塚；天慶3年2/14将門戦死。首は京へ胴体は延命院へ。石塔婆は大手町首塚から(昭50年)現在地は「神田山ーカドヤマ」(カラダ山→神田山、マサカド山→カドヤマ)
- ・坂東市観光交流センター；明治23年創業の大塚酒造本蔵が平成28年11月18日に「国の有形文化財」に登録され、それを囲むようにガラス・陶芸・木工・3D工房、アルパカ・ポニー・ウサギなどの動物ふれあい広場もあります。